

平成二十年（1929）12月

人文学系教員研究業績

森 邦昭

「たとえば」を発言させて思考力を育てる道徳授業の試み」『福岡市教育センター平成19年度研究紀要』第七七五号

「教育における認識と言葉」『文藝と思想』第72号

望月俊孝

「超越論的観念論と純粹経験説の立場カント・漱石・西田（一）」『文藝と思想』第72号

スウェン・ホルスト

「シュワルツワルト観光の振興」『文藝と思想』第72号

吉田 信

「文明・法・人種」「日本人法」制定過程をめぐる議論から」『東南アジア歴史と文化』37号

宮崎聖子

「植民地期台湾における青年団と地域の変容」御茶の水書房

（書評）「吉川真美子著（二〇〇七）『ドメスティック・バイオレンスとジェンダー』

適正手続きと被害者保護」『カティング・エッジ』29号 北九州男女共同参画センター

松沼美穂

「兵士たちのフランス軍団 ヴィシー時代の退役兵士運動」『思想』1006号 岩波書店

「フランス第三共和政期の植民地住民の法的地位に関する予備的考察」『文藝と思想』72号

「競合しつつ共存する帝国の論理 条約改正と日清戦争にみるフランスの対日認識およびそのフランス帝国内への反響」

「財団法人福武学術文化振興財団歴史学・地理学助成報告書」（財団法人福武学術文化振興財団）平成19年度

「フランス第三共和政期のインド所領住民の法的地位と参政権 ナシヨナル・アイデンティティの構築と植民地支配の関連をめぐる一考察」『西洋史学論集』46号

張 艶

「アジア諸国間の株価連動性」『文藝と思想』第72号

「中国マクロ経済変数の非定常性とD/G

Pの構造変化」『経済学研究』第74巻第4号

「中国の株式市場の発展と実証分析」『国際政経論集』第14号

Analyses of China's Price Fluctuation Using Structural VAR Model, *Information*, Vol.11, No.4, International Information Institute.

「中国経済の安定と構造変化 韓国との比較において」（松浦克己氏と共著）『経済論叢』第32巻第2号

一階干絵

「東京の盛り場と女相撲」『現代スポーツ評論』第19号

平成二十年

国文学科卒業論文題目

「――内は指導教員名

平安時代の詩序をめぐる

詩序文を中心に 赤坂みなみ

日本語教育の研究 テ形接続の習得に関

して 天本由加里

「川野 靖子」

宮崎県諸県方言の研究 二世代間のアク
セントの実態を中心として

ぐって

岩見 由佳
〔坂本 浩二〕

三島由紀夫『鹿鳴館』

進登 祐美
〔石井 和夫〕

宮澤賢治の研究 「オツベルと象」の主題
とは

〔矢野 準二〕

源氏物語の研究

斎宮女御と玉鬘をめぐって

長崎方言の社会言語学的研究 杵岐市地
域における地点別・世代別アンケート
調査から

末永真美子
〔坂本 浩二〕

〔石井 和夫〕

宇治拾遺物語の構想 固有説話を中心
に

近代仮名表記研究 小出繁の紀行文を中
心に

〔石井 和夫〕

江崎 祐美
〔今井 明〕

〔坂本 浩二〕

『太平記』の本質 九州の合戦を中心に

池間 夏子
〔今井 明〕

吉行淳之介の研究

大久保暢子
〔石井 和夫〕

川端康成研究 『禽獸』論 高尾美由希
〔石井 和夫〕

『枕草子』の研究 能因本と三巻本の本文
再検討

井上 尚子
〔田坂 憲二〕

節用集の研究 近世節用集の系統関係の
調査

近世における武士像 『武道伝来記』巻四
の一を中心に

〔田坂 憲二〕

源氏物語の研究 乳母と乳母子につい
て

現代日本語の研究 「よつだ」「みたいだ」
「ばい」「らしい」「そつだ」について

中世文学と怪奇現象 人の与り知らぬと
ころから与えられるもの

井上裕美子
〔今井 明〕

源氏物語の研究 葵の上と光源氏をめぐって

〔田坂 憲二〕

〔今井 明〕

源氏物語の研究 葵の上と光源氏をめぐって

〔田坂 憲二〕

村上春樹研究 『蜩』から『ノルウェイの
森』へ

井上 里沙
〔石井 和夫〕

源氏物語の研究 右大臣家の政治的位
置

合巻の会話資料性についての探究

〔石井 和夫〕

源氏物語の研究 右大臣家の政治的位
置

竹馬 菜摘
〔矢野 準二〕

芥川龍之介研究 「杜子春」を中心に

岩下 加奈
〔石井 和夫〕

考訂今昔物語の国語学的研究 井沢長
秀の編纂思考の二面性

道真の漢詩にみえる意識 「天淨識寶鴻」
詩を中心に

〔石井 和夫〕

考訂今昔物語の国語学的研究 井沢長
秀の編纂思考の二面性

〔月野 文子〕

明治初期漢語辞書資料の国語学的研究

『布告必用 漢語絵字引』の挿絵をめ

〔坂本 浩二〕

中世物語の研究 『とりかへばや』物語に

おける男装の姫君の可能性

永瀬 由紀

〔今井 明〕

室町物語の研究 身をやつす物語を中心
に 永田 晶子

〔今井 明〕

遠藤周作研究 「黄色い人」を中心に

仲光木綿子

〔石井 和夫〕

源氏物語の研究 文と人物造型の関わり
中牟田朋子

〔田坂 恵二〕

湘夢遺稿の研究 「讀源語」詩を中心
に 永吉 紗代

〔月野 文子〕

落窪物語の研究 道頼の変化と人格分裂
について 野口 幸子

〔田坂 恵二〕

明治期文献資料の日本語学的研究 片山
淳之介 『西洋衣食住』の資料性

野田麻由香

〔坂本 浩二〕

平安朝和歌の研究 伊勢について

花房 亜季

〔田坂 恵二〕

宮沢賢治研究 「銀河鉄道の夜」にいたる
まで 樋口 奈央

〔石井 和夫〕

中世の武士像 『義経記』の義経像を中心
に考える 廣岡佑実子

〔今井 明〕

平安朝漢詩文の研究 潘岳の詠み込まれ
た作品を中心として 藤巻 里佳

〔月野 文子〕

平安時代和歌の研究 壬生忠見とその周
辺 古川 春香

〔田坂 恵二〕

明治期英学資料の国語学的研究 英熟語
辞典に見出す新たな可能性 細江 琴美

〔坂本 浩二〕

夏目漱石『夢十夜』研究 本田 弘子

〔石井 和夫〕

日本語教育の研究 学習者の作文にみら
れる指示表現の誤用 松尾 知美

〔川野 靖子〕

泉鏡花の女性像 魔の正体 松下亜友美

〔石井 和夫〕

遊女と『梁塵秘抄』

〔今井 明〕

源氏物語 研究 明石姫君の宿世と権力

三谷 香織

〔田坂 恵二〕

源氏物語の研究 谷崎源氏の本文と変
遷 八波 絵理

〔田坂 恵二〕

日本語教育の研究 長崎における地域語
教育のための教材作成 山本 尚未

〔川野 靖子〕

怨霊と中世文学 軍記物語を中心に
吉武美由起

〔今井 明〕

日英語の対照研究 無生物主語他動詞文
の使用実態 米原 多紀

〔川野 靖子〕

地域方言の社会言語学的研究 佐上 綾子

〔坂本 浩二〕

吉屋信子の少女小説研究 江藤 愛

〔石井 和夫〕

中世女流日記の研究 『とはすがたり』を
中心に 多田亜友美

〔今井 明〕